NEWS RELEASE

2026 年 11 月 11 日
VicOne 株式会社

VicOne、「EdgeTech+ 2026」に出展
AI によって変化する脅威と EU CRA への備えを展示・講演で紹介

～会期中は毎日セミナーに登壇、11 月 27 日開催の

「“くるまからモビリティへ”の技術展 2026」でも講演～

トレンドマイクロ株式会社（東京都新宿区、代表取締役社長（CEO）エバ・チェン）の子会社で、自動車向けサイバーセキュリティを軸にフィジカル AI 領域にも取り組みを広げる VicOne 株式会社（ヴィックワン、東京都渋谷区、最高経営責任者（CEO）マックス・チェン）は、2026 年 11 月 18 日（水）～20 日（金）にパシフィコ横浜にて開催される「EdgeTech+ 2026」に出展します。

会期中は、特別企画「オートモーティブ ソフトウエア エキスポ」内の「自動車サイバーセキュリティパビリオン」にて、AI によって変化する脅威と EU サイバーレジリエンス法（以下、EU CRA）への備えに関する展示を行います。また、同パビリオンで開催されるセミナーにも毎日登壇し、関連するテーマについて講演します。

また、11 月 27 日（金）には、東京国際フォーラムで開催される「“くるまからモビリティへ”の技術展 2026」（以下、くるモビ展）で、AIDV（AI 定義型車両：AI-Defined Vehicle）をテーマに講演を行います。

■「EdgeTech+ 2026」：AI がもたらす新たな脅威と EU CRA への備えを提案

「EdgeTech+」は、組込み・エッジテクノロジー分野の総合展示会です。特別企画の「オートモーティブ ソフトウエア エキスポ」では、自動車開発における最新のソフトウェア技術に焦点が当てられ、自動車サイバーセキュリティパビリオンなどが設けられます。

生成 AI の普及によってサイバー攻撃の高速化や低コスト化が進み、車載 AI そのものを標的とする脅威も広がりつつあります。また、EU CRA では、2026 年 9 月 11 日に脆弱性・インシデントの報告義務の適用が始まり、2027 年 12 月 11 日には全面適用を迎えます。VicOne のブースでは「AI × Security」と「EU CRA」の 2 つのテーマを軸に、こうした脅威や規制への対応を紹介するとともに、各ソリューションの管理画面をモニターでご覧いただきながら担当者が具体的な活用方法を説明します。

同会場で開催されるセミナーでは、AI によって加速するサイバー攻撃、SBOM と脆弱性管理を取り巻く環境の変化、SDV の攻撃対象領域とエッジでの対策をテーマに講演するほか、市場投入後の車両に対する継続的なサイバーセキュリティ対策や、業界のセキュリティ人材育成をテーマとするパネルディスカッションにも参加します。

VicOne 登壇スケジュール

- **11 月 18 日（水）**
  14:35～　「AI が速める攻撃と車の裏側」
  安井 良典（エンジニアリング部 SE グループ ソリューションコンサルタント）
  15:45～　パネルディスカッション「AI リスク時代の継続的サイバーセキュリティ」
  原 聖樹（執行役員 技術統括 シニアディレクター）
- **11 月 19 日（木）**
  14:35～　「2026 年、SBOM と脆弱性管理の“前提”が変わった — NVD の方針転換、UN R-155 と CRA から読み解く自動車サプライチェーンの脆弱性管理の次の一手」
  小松 寛之（エンジニアリング部 SE グループ ソリューションコンサルタント）
  15:45～　パネルディスカッション「自動車サイバーセキュリティを支える人材育成」
  小田 章展（日本地域代表 カントリーマネージャー）
- **11 月 20 日（金）**
  14:35～　「Attack Surface として狙われる SDV：VicOne の観測データから読み解くエッジの備え」
  坂野 幸男（ビジネス開発部 シニアマネージャー）

【会場】パシフィコ横浜　自動車サイバーセキュリティパビリオンセミナー（Room P）
【セミナーの詳細・聴講登録】詳しくは公式サイトをご確認ください
https://www.jasa.or.jp/expo/automotive_software_expo/

パートナー企業ブースでの展示

リョーサン菱洋株式会社のブース（小間番号 CJ-15）では、EU CRA への対応を支援する VicOne のソリューション「CRA Studio」と「xZETA」を紹介します。「CRA Studio」はリスク分析や技術文書の整備を、「xZETA」は SBOM の生成や継続的な脆弱性管理、報告義務への対応に必要な情報の整理を支援します。また、ブース内では両ソリューションを紹介する約 10 分間のミニセミナーも予定しています。

開催概要

【日時】2026 年 11 月 18 日（水）～20 日（金）10:00～17:00　※19 日（木）のみ 18:00 まで
【会場】パシフィコ横浜：展示ホール／アネックスホール
【VicOne ブース】自動車サイバーセキュリティパビリオン内　小間番号：DT-09
【主催】一般社団法人 組込みシステム技術協会
【参加費】無料　※オンライン登録制、会期 3 日間有効
【公式サイト】https://www.jasa.or.jp/expo/

■「くるモビ展」：AIDV 時代のサイバーセキュリティを解説

くるモビ展は、自動車業界における「くるまからモビリティへ」の変革に向けて産官学の交流と連携を促す技術展で、今年は SDV や AI などの将来技術を主なテーマの一つに掲げています。

自動車がソフトウェアで定義される SDV から、AI が学習・判断し継続的に進化する AIDV へと移行するなか、サイバーセキュリティにも新たな課題が生じています。生成 AI による攻撃の自動化が進み、車載 AI そのものを標的とする攻撃も懸念される一方、AI の安全性やソフトウェアの開発・調達に関する法規制への対応も求められています。11 月 27 日（金）の東京国際フォーラム会場では、VicOne 日本地域代表 カントリーマネージャーの小田 章展が「AIDV 時代に求められるモビリティサイバーセキュリティ」をテーマに講演します。

開催・講演概要

【日時】2026 年 11 月 27 日（金）14:30～15:00

【会場】東京国際フォーラム ガラス棟 G605 スタートアップステージ
【主催】公益社団法人 自動車技術会
【聴講】無料（事前登録・聴講予約制）
【公式サイト】https://expo-info.kurumobi.jsae.or.jp/ja/
【講演概要】VicOne の脅威リサーチから得られた知見をもとに、AIDV を取り巻く脅威の動向や規制の変化を解説するとともに、開発から車載・運用までのライフサイクルを通じて AIDV を守るための考え方と、VicOne の関連ソリューションを紹介します。

VicOne について

VicOne はトレンドマイクロの子会社として設立され、これからの自動車を守るというビジョンのもと、コネクテッドカーや SDV（ソフトウェア定義車両）など車両のデジタル化が進むモビリティ領域に向けてサイバーセキュリティソフトウェアおよびサービスを提供し、セキュリティ体制の構築を支援しています。
VicOne はこの自動車分野で培った技術と脅威インテリジェンスを基盤に、ヒューマノイドを含むロボットやドローンなどのフィジカル AI 領域へも事業を展開しています。AI が機器の判断や制御を担いつつある今、イノベーション研究ラボ「LAB R7」を通じて AI ロボティクスを中心とした脅威研究やフィジカル AI 向けセキュリティ技術の研究開発に取り組んでいます。

〈会社概要〉

日本法人名	VicOne 株式会社（英語名：VicOne Corporation）
グローバル代表 CEO	マックス・チェン
日本法人役員	会長　マヘンドラ・ネギ、　マックス・チェン等
設立日（台湾）	2022 年 6 月
設立日（日本）	2023 年 6 月（登記月）
従業員数（グローバル）	約 120 名
本社所在地	東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-27-5 リンクスクエア新宿
事業内容	自動車およびフィジカル AI 向けサイバーセキュリティソリューションの開発
URL	https://www.vicone.com/jp